



主な復興事業の実施場所



「釣師防災緑地どんぐりプロジェクト2014植樹祭」を平成26年10月5日に開催しました。多くの皆さんにご参加をいただき、ありがとうございました。

	番号	事業名	平成	平成	平成	事業主体	備考		
			26年度	27年度	28年度				
各事業の実施時期	1他	防災集団移転促進事業（7団地）	(移転者による住宅建設後、順次居住)			新地町	No.1,5,10,16,18,20,46		
	2	作田東地区災害町営住宅							
	3	(仮称)作田西線							
	4	町道(仮称)中島作田線							
	6	作田西地区災害町営住宅							
	7	新地駅周辺被災市街地復興土地区画整理事業			(一部供用)				
	8	津波復興拠点整備事業			(一部供用)				
	9	中島地区災害町営住宅							
	11	岡地区災害町営住宅							
	13	小規模住宅地区改良事業							
	15	(仮称)雁小屋北線							
	17	雁小屋地区災害町営住宅							
	19	町道駒ヶ嶺新地線							
	23	常磐道・新地IC高速バスストップ							
	24	一般県道・赤柴中島線							
	※現時点での目標です	25	(仮称)磯山展望緑地					福島県	
		26	埴川(災害復旧)						
		27	三滝川(災害復旧)						
		28	埴浜地区防災緑地						
29		木崎地区海岸							
30		作田前地区農用地災害復旧関連区画整理事業			(一部供用)				
31		一般県道・金山新地停車場線							
32		砂子田川(改修)							
33		釣師浜漁港海岸							
34		釣師地区防災緑地				新地町			
竣工した事業はこの表に未掲載です		35	一般県道・新地停車場釣師線				福島県		
	36	主要地方道・相馬亘理線(バイパス整備)							
	37	主要地方道・相馬亘理線(現道の改良事業)							
	38	臨港道路				福島県			
	39	釣師浜漁港				新地町			
	40	水産業共同利用施設							
	41	濁川(災害復旧)				福島県			
	42	JR常磐線駒ヶ嶺～浜吉田間鉄道施設復旧				JR			
	43	町道田中大戸浜線				新地町			
	44	大戸浜地区防災コミュニティセンター							
45	町道宮田踏込畑線								
47	大戸浜地区災害町営住宅								
48	町道大戸浜富倉線								
49	富倉地区防災コミュニティセンター								
50	町道大戸浜今泉線								
51	立田川(改修)				福島県				
52	地藏川(改修)				福島県				
53	相馬港								
54	駒ヶ嶺地区用排水路整備				新地町				

〈凡例〉

- 設計、準備等
- 建設中
- 竣工、供用
- 復興だよりの発行時点

1.防災集団移転促進事業(7団地・・各団地はP6参照)

津波被災した沿岸部から安全な地区へ集団移転を図る事業で、7団地が対象です。現在は全地区で宅地造成を終え、移転者による住宅建設が進んでおり、一部団地では引き続き公園等を整備中です。



2.作田東地区災害町営住宅

平屋建ての災害町営住宅6戸を作田東地区の防災集団移転団地内に整備しています。平成26年9月に着工し、平成27年3月の竣工を予定しています。



3.(仮称)作田西線

防災集団移転の作田西団地の北東部から、北側の熊野地区や国道6号方面へつなぐ道路の新設工事を進めています。



4.町道(仮称)中島作田線

新地駅前の土地区画整理事業地区と防災集団移転の作田東団地とを結ぶ道路の整備を進めています。



6.作田西地区災害町営住宅

平屋建ての災害町営住宅9戸を作田西地区の防災集団移転団地内に整備しています。平成26年9月に着工し、平成27年3月の竣工を予定しています。



7.新地駅周辺被災市街地復興土地区画整理事業(P6参照)

移設整備されるJR常磐線と合わせて新地駅および駅前広場のほか、住宅ゾーンを始めとして、駅周辺の交流ゾーン、地域振興ゾーン、雇用創出ゾーン、防災ゾーン等を形成します。



8.津波復興拠点整備事業(P6参照)

前記の土地区画整理事業の一部区域で当事業を重ねて行い、駅の近くの交流センターや、新地消防分署の建替えと合築する防災センター等の整備を進めます。



(防災センターのイメージ)

9.中島地区災害町営住宅(P6参照)

新地駅周辺の土地区画整理事業地区内に災害町営住宅30戸の整備を計画しています。予定地は現在、盛土工事中で、平成28年3月頃の竣工をめざし検討を進めています。



11.岡地区災害町営住宅

平屋および2階建ての災害町営住宅14戸を岡地区の防災集団移転団地内に整備しています。平成26年末に工事を終え、1月末から引き渡しを進めています。



13.小規模住宅地区改良事業

津波により損壊した住宅が多かった原添・八幡前地区において当事業を行い、緑地や生活道路など公共施設の整備を進めています。



(着工前の状況です)

15.(仮称)雁小屋北線

防災集団移転の雁小屋団地から、県道・赤柴中島線への道路で、町の中心部方面へ行きやすくするため拡幅を行います。その中で砂子田川に架かる橋についても拡幅整備します。



(着工前の状況です)

17.雁小屋地区災害町営住宅

平屋建ての災害町営住宅27戸を雁小屋地区の防災集団移転団地内に整備しています。平成26年内に工事を終え、1月末から引き渡しを進めています。



19.町道駒ヶ嶺新地線

防災集団移転の富倉団地に近い駒ヶ嶺新地線は、歩道が一部で未整備のため、安全確保に向けて歩道の整備を行います。



(着工前の状況です)

23.常磐道・新地IC高速バスストップ

常磐自動車道を運行する高速バスへの乗降を可能とするため、新地インターチェンジに隣接してバス停と駐車場を整備していきます。



24.一般県道・赤柴中島線

国道113号と常磐自動車道・新地インターチェンジ付近の未改良区間(幅員狭小、線形不良)の解消を目的として拡幅整備を行います。



25.(仮称)磯山展望緑地

別途整備する堺浜地区と釣師地区の防災緑地の津波減衰機能や後背地浸水低減機能を補完するため、磯山地区に盛土や植樹を行い、浜通りの美しい景観を眺望できる緑地を整備します。



(着工前の状況です)

26.堺川(災害復旧)

東日本大震災により被災した堺川の堤防の復旧とともに、海岸の防潮堤のTP=7.2mへの嵩上げにすりつくよう再整備します。



27.三滝川(災害復旧)

東日本大震災により被災した三滝川の堤防の復旧とともに、海岸の防潮堤のTP=7.2mへの嵩上げにすりつくよう再整備します。



28.堺浜地区防災緑地

津波を減衰させ、市街地の浸水被害範囲を縮小し、避難時間の確保や漂流物捕捉により衝突被害を軽減すること等を目的として、堺浜地区の防潮堤の背後に防災緑地を整備します。



29.木崎地区海岸

東日本大震災の津波により被災した堺浜・木崎地区の防潮堤をTP=7.2mへ嵩上げ再整備します。整備にあたっては、防潮堤の勾配を緩傾斜にするなど粘り強い構造にします。



30.作田前地区農用地復旧関連区画整理事業

津波被災した農地の復興のため、ほ場の大区画化等による農業生産性の向上および担い手への農地集積の促進に向け、作田前地区で農地の区画整理等の基盤整備を進めています。



31.一般県道・金山新地停車場線

JR常磐線の移設と、新地駅前の土地区画整理事業に関連して、新たなルートにより拡幅工事を実施します(現町道を一部活用します)。



(着工前の状況です)

32.砂子田川(改修)

新地駅前の土地区画整理事業に隣接する砂子田川の治水安全度の確保を図るため河道を改修します。さらに海岸の防潮堤のTP=7.2mへの嵩上げにすりつくよう堤防を再整備します。



33.釣師浜漁港海岸

東日本大震災により被災した釣師浜漁港周辺の防潮堤をTP=7.2mへ嵩上げて復旧します。整備にあたっては、防潮堤の勾配を緩傾斜にするなど粘り強い構造にします。



34.釣師地区防災緑地

津波から市街地を守るとともに憩いや慰霊の場とするため、釣師地区の防潮堤の背後に防災緑地を整備します。地区内に植える木は「どんぐりプロジェクト」として、町民を始めとする方々のご協力を得て植樹や育成を進めています。



35.一般県道・新地停車場釣師線

JR常磐線の移設と、新地駅前の土地区画整理事業に関連して、新たなルートにより道路を整備します。この整備により、従前の釣師踏切を廃し、立体交差化します。



36.主要地方道・相馬亘理線(バイパス整備)

堺浜地区および釣師地区で津波被災した主要地方道・相馬亘理線について、JR常磐線の移設による旧線路敷地を利用し、バイパスを新設します。



37.主要地方道・相馬亘理線(現道の改良事業)

大戸浜地区より南の区間で高潮、波浪時に冠水する現道を嵩上げし、安全安心な道路を整備します。釣師地区や堺浜地区の小塚橋、曙橋、釣師橋も堤防整備と合わせて復旧します。-4-



(着工前の状況です)

53.相馬港

岸壁(バース)の復旧は、全13バースが1月26日に完了いたしました。また、3号ふ頭に続き、4号ふ頭の整備を進めており、LNG基地の立地を支援していきます。



54.駒ヶ嶺地区用排水路整備

(着工前の状況です)

津波浸水や地盤沈下の被害を受けたJR駒ヶ嶺駅周辺の農地の復旧・復興を進めるため、排水路の拡幅および用水路の整備とともに安全施設等を整備します。



ピックアップ

<① 防災集団移転促進事業>



1.作田東地区

一般宅地全16区画の造成が終了して順次引き渡しを行い、移転者による住宅着工率は約90%となっています。引き続き防犯灯などの整備を進めていきます。



5.作田西地区

一般宅地全28区画の造成が終了して順次引き渡しを行い、移転者による住宅着工率は約85%となっています。引き続き防犯灯などの整備を進めていきます。



10.岡地区

一般宅地全18区画の造成が終了して順次引き渡しを行い、移転者の入居率は約90%となっています。引き続き防犯灯などの整備を進めていきます。



16.雁小屋地区

一般宅地全58区画の造成が終了しており、町内最大の防災集団移転団地です。順次引き渡しを行い、移転者による住宅着工率は約85%となっています。引き続き集会場や防犯灯などの整備を進めていきます。



18.富倉地区

一般住宅全8区画を造成し、平成25年8月に引き渡しを行いました。現在は地区内全宅地で移転者の住宅建設が進み、新生活が始まっています。



20.雁小屋西地区

一般住宅全6区画を造成し、平成25年9月に引き渡しを行いました。現在は地区内全宅地で移転者の住宅建設が進み、新生活が始まっています。



46.大戸浜地区

一般宅地全23区画の造成が終了して順次引き渡しを行い、移転者による住宅着工率は約90%となっています。引き続き防犯灯などの整備を進めていきます。

<② 新地駅周辺市街地復興整備事業>

町の顔となる地区として、土地区画整理事業(No.7)と、一部区域では津波復興拠点整備事業(No.8)を重ねて行い、移設整備されるJR常磐線(No.42)に合わせて新地駅と駅前広場のほか、交流ゾーンや住宅ゾーン等を形成します。また、中島地区災害町営住宅(No.9)についても、この地区内に整備します。



2015年1月14日



(将来イメージ)

< 竣工した事業 >

12. 愛宕東地区 災害町営住宅

町の中心に近い愛宕地区に3階建て集合住宅タイプの災害町営住宅4棟30戸を建設し、平成25年12月から入居が始まっています。



14. 被災高齢者共同住宅

被災した高齢者単身世帯および夫婦世帯を対象として、台湾赤十字組織からの寄付を受け、小川地区に被災高齢者共同住宅22戸を整備し、平成25年11月に入居が始まっています。



21. 駒ヶ嶺原地区災害町営住宅

総合運動公園や、震災後に立地した渡辺病院に隣接する原地区に、平屋および2階建ての災害町営住宅6戸を建設し、平成26年1月から入居が始まっています。



22. 常磐道・新地インターチェンジ(IC)

新地ICを含む、常磐自動車道の浪江IC～山元IC間が平成26年12月6日に開通して南相馬方面や宮城県方面へ高速道路で繋がり、3月1日には残る区間も開通予定で、常磐道が全線開通します。



38.臨港道路

釣師浜漁港の背後に整備中の防災緑地から海岸の防潮堤を越えて漁港へ行く道路や港内の道路であり、防潮堤の工事と合わせて事業を進めています。



39.釣師浜漁港

東日本大震災により被災した岸壁や南防波堤の嵩上げ復旧工事が完了し、沖防波堤の復旧や漁業施設用地の舗装などの復旧工事に取り組んでいます。



40.水産業共同利用施設

福島県の施工による漁港施設の復旧工事が進んでおり、町としては漁協建物や漁具倉庫など共同利用施設の復旧工事に取り組んでいます。



(着工前の状況です)

41.濁川(災害復旧)

東日本大震災により被災した濁川の堤防の復旧とともに、海岸の防潮堤のTP=7.2mへの嵩上げにすりつくよう河川堤防を再整備します。



42.JR常磐線駒ヶ嶺～浜吉田間鉄道施設復旧

津波で全壊流失したJR常磐線新地駅の南側から、宮城県の新地駅の手前までの区間の移設整備と前後区間の復旧がJR東日本にて進められており、平成29年春頃の開通をめざしています。



43.町道田中大戸浜線

防災集団移転の大戸浜団地の北側から、役場方面へつながる道路の拡幅工事を進めています。また、この道路の田中地区では既存道路への歩道整備を行っています。



44.大戸浜地区防災コミュニティセンター

津波で全壊した大戸浜公会堂について、防災倉庫を併設した防災コミュニティセンターとして、緑地広場に移転整備します。平成26年11月に着工しており、今年3月までに竣工予定です。



45.町道宮田踏込畑線

大戸浜地区の緑地広場から南に向かい、さらに南側の防災集団移転団地に隣接する大戸浜富倉線に接続するまでの道路の整備を進めています。



(着工前の状況です)

47.大戸浜地区災害町営住宅

平屋および2階建ての災害町営住宅11戸を大戸浜地区の防災集団移転団地内に整備しています。平成26年に工事を終え、年末から引き渡しを進めています。



48.町道大戸浜富倉線

防災集団移転の大戸浜団地から、鉄道を越え富倉地区や総合公園への道路を拡幅整備中です。鉄道交差部に橋を架けるため、迂回や仮設道路の通行となりますが、ご理解・ご協力をお願いします。



49.富倉地区防災コミュニティセンター

津波で被災した富倉公会堂について、防災倉庫を併設した防災コミュニティセンターとして安全な場所に移転整備します。平成26年11月に着工し、今年3月までに竣工予定です。



50.町道大戸浜今泉線

防災集団移転の大戸浜団地の東側から、南側の今泉地区へと至る既存道路に10箇所程度の待避部を設置するなど通行を円滑化し、他の避難道路を補完する道路として整備していきます。



(着工前の状況です)

51.立田川(改修)

人家が連たんしている駒ヶ嶺地区の中心部を流れる立田川の治水安全度の確保を図るとともに再度の災害を防止するため、河道改修を進めます。



(着工前の状況です)

52.地藏川(改修)

東日本大震災により被災した地藏川の堤防の復旧とともに、河口付近の今泉地区では河道改修を行い、海岸の防潮堤のTP=7.2mへの嵩上げにすりつくよう堤防を再整備します。



(着工前の状況です)